



令和 6 年 12 月定例会

大館市議会会議録（第 4 号）

自 令和 6 年11月25日 開会
至 令和 6 年12月12日 閉会

大 館 市 議 会

1 1 月 2 5 日（月曜日）

第 1 日目

令和 6 年11月25日（月曜日）

議事日程第 1 号

令和 6 年11月25日（月曜日）

開 会 午前10時

議長報告（文書）

第 1 会議録署名議員の指名

第 2 会期の決定

第 3 議案の上程（一括）

説 明

質 疑

散 会

本日の会議に付した事件

日程第 1 会議録署名議員の指名

日程第 2 会期の決定

日程第 3 議案の上程

1. 報 第 20 号 専決処分の報告について（和解及び損害賠償について）
2. 認 第 10 号 専決処分の承認について（令和 6 年度大館市一般会計補正予算（第 7 号））
3. 議案第160号 戸別浄化槽整備事業及び農業集落排水事業に地方公営企業法を適用することに伴う関係条例の整備に関する条例案
4. 議案第161号 督促手数料の廃止に伴う関係条例の整備に関する条例案
5. 議案第162号 議決内容の一部変更について（大館市本庁舎建設事業外構整備工事の請負契約の締結について）
6. 議案第163号 財産の取得について（土地 清水堰添10番 1 外28筆）
7. 議案第164号 大館市定住自立圏形成方針の変更について
8. 議案第165号 大館市へき地保育所の指定管理者の指定について
9. 議案第166号 大館市比内福祉保健総合センターの指定管理者の指定について
10. 議案第167号 大館市斎場及び大館市ペット霊園の指定管理者の指定について
11. 議案第168号 市道路線の廃止について（番屋台線外 2 路線）
12. 議案第169号 市道路線の認定について（番屋台線外 4 路線）
13. 議案第170号 秋田県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び秋

田県市町村総合事務組合規約の変更について

14. 議案第171号 令和6年度大館市一般会計補正予算（第8号）案
15. 議案第172号 令和6年度大館市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）案
16. 議案第173号 令和6年度大館市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）案
17. 議案第174号 令和6年度大館市介護保険特別会計補正予算（第3号）案
18. 議案第175号 令和6年度大館市休日夜間急患センター特別会計補正予算（第1号）案
19. 議案第176号 令和6年度大館市温泉開発特別会計補正予算（第2号）案
20. 議案第177号 令和6年度大館市都市計画事業特別会計補正予算（第2号）案
21. 議案第178号 令和6年度大館市水道事業会計補正予算（第2号）案
22. 議案第179号 令和6年度大館市工業用水道事業会計補正予算（第2号）案
23. 議案第180号 令和6年度大館市下水道事業会計補正予算（第3号）案
24. 議案第181号 令和6年度大館市病院事業会計補正予算（第2号）案

出席議員（26名）

1 番	吉 田 勇一郎	2 番	菅 原 喜 博
3 番	田 中 耕太郎	4 番	花 岡 有 一
5 番	藤 原 明	6 番	伊 藤 毅
7 番	秋 元 貞 一	8 番	佐々木 公 司
9 番	武 田 晋	10 番	今 泉 まき子
11 番	伊 藤 深 雪	12 番	小 畑 新 一
13 番	佐 藤 和 幸	14 番	金 谷 真 弓
15 番	明 石 宏 康	16 番	柳 館 晃
17 番	田 村 秀 雄	18 番	田 村 儀 光
19 番	石 垣 博 隆	20 番	伊 藤 励
21 番	工 藤 賢 一	22 番	花 田 強
23 番	岩 本 裕 司	24 番	相 馬 エミ子
25 番	吉 原 正	26 番	佐 藤 芳 忠

欠席議員（なし）

説明のため出席した者

市

長 石 田 健 佑

副市長	北林武彦
理事	日景浩樹
総務部長	伊藤良晋
総務課長	佐々木みゆき
財政課長	若松健寿
市民部長	阿部精範
福祉部長	畠沢昌人
産業部長	大森泰彦
観光交流スポーツ部長	阿部拓巳
建設部長	柏山一法
会計管理者	佐藤税
病院事業管理者	吉原秀一
市立総合病院事務局長	田畑素保
消防長	虻川茂樹
教育長	高橋善之
教育次長	成田浩司
選挙管理委員会事務局長	高橋勉
農業委員会事務局長	渡辺孝義
監査委員事務局長	畠沢依子

事務局職員出席者

事務局長	乳井浩吉
次長	金一智
係長	萬田文英
主査	大高尚吾
主査	北林麻美
主任	阿部孔達

午前10時00分 開 会

○議長（武田 晋） これより、令和6年大館市議会12月定例会を開会いたします。

出席議員は定足数に達しております。

よって、直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事は、日程第1号をもって進めます。

諸般の報告は、配付文書により御了承願います。

日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（武田 晋） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本定例会の会議録署名議員は、23番 岩本裕司議員、24番 相馬エミ子議員、25番 吉原正議員を指名いたします。

日程第2 会期の決定

○議長（武田 晋） 日程第2、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。

本定例会の会期は、本日から12月12日までの18日間と定めたいと思います。

これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（武田 晋） 御異議なしと認めます。

よって、会期は本日から18日間と決定いたしました。

なお、会期中の会議予定につきましては、配付しております日程表のとおりでありますからさよう御了承願います。

日程第3 議案の上程

○議長（武田 晋） 日程第3、議案の上程を行います。

報第20号、認第10号、及び議案第160号から同第181号までの以上24件を一括上程いたします。

提出者の説明を求めます。

〔石田健佑市長 登壇〕

○市長（石田健佑） 12月定例会に当たり、提出議案の説明に先立ちまして、9月定例会以後の主な事項について概要を御報告申し上げます。

1、大館市総合防災訓練の実施について。11月17日、市役所本庁舎、桂城公園、中央公民館などを会場に実施し、当日は消防団や陸上自衛隊、警察署をはじめ自主防災組織、周辺町内会

など46団体、約500人が参加しました。今回の訓練では、大雨により河川が増水する中で震度6強の直下型地震が発生したことを想定し、災害対策本部の運営、ドローンによる情報収集・伝達、土砂災害からの救出・救助、エレベーターの閉じ込め救出のほか、避難者の健康確認、要配慮者への支援と福祉避難所への搬送、避難所開設・運営など22種目の訓練を実施しました。また防災啓発として、震度7までの揺れを体験できる地震体験車や防災対策用車両などの展示を行いました。能登半島地震をはじめ全国各地で自然災害が頻発する中、本県においても3年連続で大雨災害が発生していることから、あらゆる災害に迅速に対応できるよう今後も訓練を積み重ね、防災力の向上に努めてまいります。

2、2025大阪・関西万博入場券の配布について。本市にロケットエンジンの燃焼試験場を置く三菱重工業から、大阪・関西万博の子供用入場券1,000枚を御寄附いただきました。これは、万博に出展する三菱グループに所属する同社が、縁のある自治体を対象に入場券の寄附を行っているもので、県内では唯一、本市が申出を受けました。希望があった市内小・中学校の児童・生徒には配布を終えており、万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」を感じていただき、自ら望む生き方を考えるきっかけになればと願っております。今後、市内高校生や未就学児への配布も検討しているところであり、実施が決まった際には市広報やホームページなどを通じて周知してまいります。

3、物価高騰対応生活支援給付金等について。物価高騰の影響を受けやすい低所得世帯を支援する給付金について、今年度新たに低所得世帯となった1,060世帯に対して1世帯当たり10万円を、児童に対する加算として1人につき5万円、133人分を上乗せして支給いたしました。また、納税義務者を対象とした定額減税に伴う調整給付金については、1万2,710人に5億45万円を支給しております。今後も市民が安心して暮らすことができるよう、必要な対策を講じてまいります。

4、農作物の収穫状況について。7月中旬から下旬にかけて天候の不安定な期間があったものの、農作物全体としてはおおむね平年並みの収穫量や品質が確保されております。基幹作物の水稻は、県北における作況指数が全県より1ポイント高い103のやや良となったほか、10アール当たりの予想収穫量は前年より40キログラム多い572キログラムとなっております。また、JAあきた北管内の一等米比率は前年比4ポイント増の92.4%となりました。一方、生産概算金は需要の高まりにより大幅に上昇し、あきたこまち60キログラム当たり2万円と、昨年より7,900円高くなっております。アスパラガスや枝豆は、病害や長雨の影響により昨年と比較し出荷量がやや減少しましたが、取引単価が上がったことにより販売額は前年を上回っております。とんぶりは生育が順調に進み、平年並みの収穫量となっておりますが、注文が多く寄せられていることから販売額は平年を上回る見込みです。山の芋も順調に生育し、出荷量は平年並みの見込みです。果樹については、リンゴは前年の高温障害の影響により花芽不良やつる割れ、着色不良による品質低下が見られます。梨は着果数が多く小玉傾向となったことにより

出荷量は増加しましたが、取引単価の下落により販売額は前年を大きく下回る見込みです。

5、**有害鳥獣による被害状況と対応について**。熊については、11月18日現在、出沒報告が136件、捕獲数が63頭と平年をやや上回る状況となっております。昨年は10月と11月の2か月で331件の出沒報告が寄せられる異常事態でありましたが、今年の10月と11月は僅か3件となっております。7月から受付を開始した誘引樹木の伐採を支援する補助制度については、11月18日現在で81件の申請があり、市内全域で対策が進んでおります。また、9月下旬には県による扇田地区での出沒抑制と人身被害の防止に向けた緩衝帯の整備事業が完了しており、人の生活圏に熊を呼び寄せない対策が一定の効果を発揮しているものと捉えております。イノシシについては、11月18日現在、出沒報告が26件、農作物等の被害が21件で昨年の約1.4倍、捕獲数が24頭で既に昨年の年間実績の約6倍となっております。冬季を迎え、野生動物の活動は落ち着くものと思われますが、警戒を継続し被害の未然防止に努めてまいります。

6、**森林認証面積の拡大について**。森林認証は適切に管理された森林であることを示す制度で、近年認証材への需要が高まる中、他の産地との差別化を図るために有効な手段となっております。市では令和4年度に市有林2,295ヘクタールの森林認証を取得し、昨年度は小坂町や民間事業者2者を加えたグループ認証として、3,142ヘクタールへ面積を拡大してまいりました。今年度からは新たに民間事業者1者がグループ認証に加わり、10月下旬から認証登録の維持に向けた審査を受けたところです。登録継続後の森林認証面積は大幅に拡大し、7,328ヘクタールとなります。認証材は、特に都市部の自治体や企業等で需要の伸びが期待できることから、官民一体となった認証面積の拡大と、認証材の安定供給体制の構築に取り組んでまいります。

7、**イタリア・ファエンツァ市での大館曲げわっぱ展示について**。10月12日から20日までの間、イタリアのファエンツァ市庁舎内において、同国では3回目となる大館曲げわっぱの展示を実施しました。同市では20年以上にわたり日本文化の紹介事業が行われており、現地在住の陶芸家平井智一氏の御協力により、このたび展示の機会を得ることができたものです。期間中は約400人の来場があり、作品を高く評価していただいたほか、産地である本市への関心が多く寄せられたことから、急遽本市を紹介するパネルを設けPRしたところです。来場者からニーズや価格帯などについての聞き取りも行っており、今後の販売戦略につなげてまいります。

8、**大館能代空港の利用状況等について**。令和6年度の乗降客数は10月末現在12万5,741人で、昨年度比で1万7,292人の増加となりました。ビジネスや観光のほか、9月と10月の3連休を中心に多くの圏域住民に御利用いただいたことが好調の要因となっております。また、11月18日には利用者数が350万人を達成し、記念イベントを行ったところです。引き続き、北東北の空の玄関口として広域で連携しながら効果的な利用促進策を講じていくとともに、3往復運航の定着と、開港以来初となる年間20万人以上の乗降客数の達成に向けて取り組んでまいります。

9、**渋谷区・大館市交流事業について。**(1)**渋谷・大館交流の絆事業。**10月11日から13日までの3日間、渋谷区青少年対策地区委員会の御協力の下、開催しました。渋谷区立幡代小学校と代々木山谷小学校の5年生19人が本市を訪れ、上川沿小学校の児童との稲刈り体験や、釈迦内小学校の児童とともに本場大館きりたんぽまつりでひまわり油などの販売体験を行い交流を深めました。また、自然環境教育として、地域林政アドバイザーによる森林講座の受講や、岩神ふれあいの森で2年前の参加者が植樹した桜の下草刈りの体験なども行いました。こうした子供たちの交流を通じて、大館と渋谷の絆が未来に向かってより一層強まるものと考えております。

(2)**渋谷区・大館市第7回情報交換会。**11月1日、渋谷区内で開催し、渋谷区からは長谷部区長、丸山区議会議長、忠犬ハチ公銅像維持会の星野会長をはじめ多数の方々に参加していただきまして、本市からは武田議長、忠犬ハチ公銅像及び秋田犬群像維持会の富樫会長をはじめとする皆様に御出席いただきました。ハチ公の縁が紡ぐ渋谷と大館との絆は、昨年ハチ公生誕100年プロジェクトを通じてさらに強固なものとなり、観光や産業、文化、スポーツなど様々な分野でこれまで以上に交流を深めていくことを確認してまいりました。

(3)**渋谷区くみんの広場。**11月2日、3日に代々木公園で行われた第47回渋谷区くみんの広場ふるさと渋谷フェスティバル2024に参加し、ハチ公生誕の地大館をPRしてまいりました。初日はあいにくの雨ではありますが、ステージ上に秋田犬20頭が登場すると多くの観客が集まり、秋田犬への関心の高さを改めて実感したところです。御協力いただきました秋田犬保存会東京都支部の皆様、この場を借りて感謝申し上げます。

(4)**忠犬ハチ公101年生誕祭。**11月10日、忠犬ハチ公銅像及び秋田犬群像維持会の主催により、秋田犬の里の忠犬ハチ公銅像前において開催されました。式典には福原衆議院議員、緑川衆議院議員、渋谷区観光協会の小池理事兼事務局長にも御参列いただき、ハチ公への献花と手紙の朗読のほか、南小学校の児童によるはちくんダンスも披露されました。また、秋田犬の里では、生誕祭に合わせてバルーンリリースや秋田犬ランウェイなどのミニイベントを開催し、多くの市民に御参加いただきました。

10、**秋田犬「想空」の看板犬デビューについて。**市が飼育する秋田犬想空が、生後8か月を迎えた翌日の10月5日に秋田犬の里の看板犬としてデビューし、初日のセレモニーでは来館者の前で白毛の愛らしい姿を披露しました。10月10日にはJR大館駅の観光駅長に就任し、同月12日には初めての任務としてきりたんぽまつりの臨時列車をお出迎えし、お客様を歓迎したところです。今後、市民の皆様や多くの観光客に愛され、秋田犬の里のシンボルとして活躍することを期待しております。

11、**秋季イベントについて。**(1)**本場大館きりたんぽまつり。**第52回を迎えた今回は、10月12日から14日までの3日間で、市内・外から約7万3,000人のお客様にお越しいただきました。観光客の消費がもたらした経済波及効果は約4億1,800万円と推計しております。会場には100

店舗を超える飲食や物販の出店があり、さらに本市と交流のある茨城県常陸大宮市、宮城県塩竈市、大阪府泉佐野市、青森県鮎ヶ沢町も出店し、3日間を通して大盛況となりました。今後とも本イベントを通じて大館の食や観光資源をPRしてまいります。

(2)第26回大館圏域産業祭。10月26日、27日の2日間、79の企業や団体が出展し、ニプロハチ公ドームを会場に開催しました。約2万人が会場を訪れ、農業や商工業など地域の産業に触れながらその魅力を感じていただきました。また、市の創業支援制度を活用した4事業者が出展し創業に向けた機運醸成を図ったほか、タクミアリーナでは子供たちが様々な仕事を体験するKIDSおしごとランド大館や、県主催のデジタル未来ふれあいフェスタ2024が同時開催され、未来を担う子供たちが地域の産業や最新の科学技術に触れる機会となりました。

(3)ONSEN・ガストロノミーウォーキング。11月23日、秋の神社仏閣・教会を巡るリラックス&ウォークをテーマに開催し、市内・外から約40人の参加がありました。今回は市内中心部にコースを設定し、地元事業者から地場産品を使った食事メニューが提供されたほか、座禅やヨガなどの体験を取り入れたところ、参加者から好評をいただいたところです。

12、**ボッチャのまち大館宣言について**。11月23日に開催したボッチャ交流会第5回はちくんオープンのセレモニーにおいて、日本ボッチャ協会、タイ王国やチャイニーズタイペイ、日本の代表選手、そして、はちくんオープンに参加する皆様の立会いの下、ボッチャに親しみ楽しみながら「ひとに優しい、ひとが優しいまち」を築くことを目的にボッチャのまち大館を宣言しました。これに先立ち、11月13日には日本ボッチャ協会と連携協定を締結したところであり、地域社会の課題解決や共生社会の深化を図ることについて、連携して取り組んでいくこととしております。市では、東京パラリンピックのホストタウン登録を契機に競技の普及に努めており、これまでタイ王国のパラアスリートとの交流やパラスポーツを通じた障害への理解など、共生社会実現に向けた取組を進めてまいりました。これらの取組をさらに推進し、市民が健康で心豊かに過ごすことができるまちづくりのため、今回の連携協定締結と宣言に至ったものです。宣言後のはちくんオープンでは、全国から集まった50チームと関係者を含む約300人が交流を深めたほか、同時開催したタイフェスティバルやサイバーボッチャの体験ブースにも多くの方に御来場いただきました。今後もボッチャのまち大館として、競技の普及はもとより、障害の有無にかかわらず誰もが暮らしやすいまちづくりに取り組んでまいります。

13、**秋田県北部地域の基盤整備を促進する秋期要望活動について**。国の補正予算や来年度の予算編成に合わせ道路、河川、洋上風力に係る11の期成同盟会が合同で、整備促進と予算確保に向けた要望活動を行いました。県北部地域の首長のほか、武田議長をはじめとする各市町議会の議長とともに、10月23日には国土交通省能代河川国道事務所を、11月1日には東北地方整備局を訪問し、安定的・持続的な予算確保と公共事業予算の拡充、日沿道の整備促進、流域治水・減災対策と連携した水防体制の強化・充実などを要望してまいりました。また、11月20日には、金田勝年前衆議院議員のお力添えにより内閣官房、国土交通省、財務省を訪問し、福原

淳嗣衆議院議員に御同行いただきながら、各首長や議長、経済団体の代表者とともに、国土強靱化の着実な推進、道路整備及び治水対策について要望を行いました。引き続き、日沿道の早期全線開通や防災・減災・国土強靱化が地域の暮らしを守り、産業振興につながることを広く発信し、関係団体とともに秋田県北部地域全体の発展に寄与できるよう努めてまいります。

14、**大館版自動運転移動サービスの実証運行について。**将来的に自動運転技術を導入することを視野に、11月16日から18日までの3日間、自動運転移動サービスの実証運行を行いました。高齢化による免許返納者が増加し公共交通機関の需要が高まっていることや、ドライバー不足が顕在化している現状を踏まえたもので、昨年度の比内地区に続き実施いたしました。今回は大館駅前からいとく大館ショッピングセンター、市立総合病院を經由し大館駅前に戻る1周約5.5キロメートルの公道で、必要に応じてドライバーが手動介入する自動運転レベル2の車両を使用して実施し、期間中一般の方や関係者を含め約240人に体験していただいたところであります。今後は試乗者の声や市民向けアンケートの結果を参考に経営面や技術面、社会受容性などの課題を分析するとともに、関係機関から意見を伺いながら実証運行を継続し、令和9年度の本格運行を目指してまいります。

15、**第9回全国小学校キャリア教育研究協議会大館大会について。**11月1日、2日の2日間、市内10の小・中学校や、ほくしか鹿鳴ホール、中央公民館を会場に開催されました。キャリア教育の取組を全国に発信し互いに学び合う大会で、本市のふるさとキャリア教育の実績が評価されたことから、本市では令和3年度に続き2回目の開催となりました。全国22都道府県から約100人、市内関係者も含めて約200人が参加しおおだて型授業の公開や各校のふるさとキャリア教育の実践発表、分科会でのディスカッションなどが行われ、活発な意見交換と情報共有が図られました。全国から集まった参加者の反応もよく、14年にわたって取り組んできた大館ふるさとキャリア教育の意義を再確認する場にもなりました。これまでの積み重ねを生かし子供たちが夢や希望を描くことができる教育の実践に結びつけ、未来大館市民の育成に努めてまいります。

16、**小学校創立150周年記念事業について。**今年、市内10の小学校が創立150周年を迎え、各校では地域とのつながりを深める様々な記念事業が行われました。このうち、桂城小学校では地域の名物や名所、行事を取り上げたオリジナルかるたの作製、花岡小学校と川口小学校では記念花火の打ち上げ、西館小学校では子供たちのメッセージを書き込んだランタンで夜空を彩るなど、地域の方々と共に各校で工夫を凝らした記念イベントが盛大に行われました。今後も明治から令和まで受け継がれてきた各校の伝統と歴史を大切に、大館の未来を担う子供たちが将来の夢や希望をかなえられるよう、より一層教育の充実に取り組んでまいります。

17、**消防署新北分署の運用開始について。**消防署北分署の新庁舎が完成し、11月1日から運用を開始しました。7日には開署式を行ったほか、関係者や地域住民の皆様新しい庁舎をお披露目いたしました。旧庁舎と比べ敷地面積は約5倍、延べ床面積は約2倍となり周囲の見通

しがよくなったこと、敷地が国道に面していることから従来に比べて消防車両の出入りがスムーズに行えるようになり、より安全かつ迅速な出動も可能となりました。また、管内分署では初となる鉄骨4階建ての訓練塔を整備したほか、庁舎内には訓練室を設置し、職員だけでなく消防団や自主防災組織など地域の方も座学や訓練に活用できる環境を整えております。引き続き大館北地域の防災の拠点として活動に当たり、市民の安全・安心確保に努めてまいります。

続きまして、提出いたしました議案について主な内容を御説明申し上げます。

報第20号は、専決処分の報告についてであります。

これは、本年7月7日に櫃崎字大道下地内の館農免農道において走行中の軽乗用自動車道路路欠損部に落ち、車両の一部を破損した事故についての和解及び損害賠償であります。この事故につきまして相手方と和解に至ったことから、地方自治法第180条第1項の規定による議会の指定した事項として専決処分させていただきましたので御報告申し上げるものであります。

認第10号は、令和6年度大館市一般会計補正予算（第7号）に係る専決処分の承認についてであります。

これは、10月9日に衆議院が解散したことに伴い衆議院議員総選挙の準備に早急に着手する必要があったことから、関連経費について歳入歳出とも4,108万円を追加計上することについて、10月10日付で専決処分させていただいたものであります。

議案第160号は、戸別浄化槽整備事業及び農業集落排水事業に地方公営企業法を適用することに伴う関係条例の整備に関する条例案であります。

これは、令和7年4月から戸別浄化槽整備事業及び農業集落排水事業に地方公営企業法の全部を適用し下水道事業会計に組み入れるため、大館市特別会計条例など関係する条例5件について所要の措置を講ずるとともに、一部の条例について条文の整備をしようとするものであります。

議案第161号は、督促手数料の廃止に伴う関係条例の整備に関する条例案であります。

これは、督促手数料の廃止により市税及び諸収入金の収納事務の効率化を図るため、大館市市税条例など関係する条例14件について所要の措置を講ずるとともに、一部の条例について条文の整備をしようとするものであります。

議案第162号は、議決内容の一部変更についてであります。

これは、令和6年3月定例会で議決いただいた大館市本庁舎建設事業外構整備工事の請負契約について、埋設構造物の撤去及び処分量の増加、並びに地盤改良の追加により事業費が増額となることから、契約の変更について議会の議決をお願いするものであります。

議案第163号は、財産の取得についてであります。

これは、大館駅インランドデポ整備事業用地として清水堰添地内ほかの土地29筆、合わせて1万6,757.55平方メートルを購入しようとするものであります。この土地の取得につきましては、予定価格が2,000万円以上で面積が5,000平方メートル以上であることから、地方自治法及

び本市条例の規定により議会の議決をお願いするものであります。

議案第164号は、大館市定住自立圏形成方針の変更についてであります。

これは、大館市定住自立圏共生ビジョンの改訂に当たり、平成21年に策定した大館市定住自立圏形成方針を変更することについて、地方自治法及び本市条例の規定により議会の議決をお願いするものであります。

議案第165号から議案第167号までの3件は、公の施設の指定管理者の指定についてであります。

これは、指定管理の期間が本年度末をもって終了する施設について、令和7年4月からの指定管理者を指定しようとするものであります。

議案第168号は、市道路線の廃止についてであります。

これは、白沢跨線橋架替事業に伴い、起終点に変更が生じる道路を廃止しようとするものであります。

議案第169号は、市道路線の認定についてであります。

これは、白沢跨線橋架替事業に伴い起終点に変更が生じる道路及び道目木地区ほ場整備事業並びに都市計画法による開発行為に伴い築造された道路を市道に認定し、管理しようとするものであります。

議案第170号は、秋田県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び秋田県市町村総合事務組合規約の変更についてであります。

これは、井川町・潟上市共有財産管理組合が令和7年3月31日をもって解散することに伴い、秋田県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数を減少させること、及び同組合の規約を変更することについて、他の関係地方公共団体と協議しようとするものであります。

議案第171号は、令和6年度大館市一般会計補正予算（第8号）案であります。

今回の補正は、歳入歳出とも5億4,216万7,000円の追加で、補正後の予算総額は397億9,548万3,000円となる見込みであります。歳出の主な内容としましては、障害者自立支援給付費、生活保護費、学校給食費物価高騰対策補助金などを追加したほか、来春実施予定の知事選挙費や中学校教員用指導書等購入費などを計上しようとするものであります。

また、第2条第2表に債務負担行為の補正を、第3条第3表には地方債の補正を、それぞれ御提案申し上げております。

議案第172号から議案第177号までの6件は、令和6年度大館市国民健康保険特別会計など、各特別会計における補正予算案であります。

主な内容としましては、大館市国民健康保険特別会計において、前年度の事務費等に係る一般会計繰入金精算に伴う経費などを計上しようとするものであります。

議案第178号は、令和6年度大館市水道事業会計補正予算（第2号）案であります。

最初に収益的収入及び支出であります。今回は支出のみの補正で、ポンプ場等の動力費の

増額及び給与費の減額等により、補正後の予算総額は14億9,379万3,000円となる見込みであります。次に資本的収入及び支出であります、こちらも支出のみの補正で、給与費の減額等により、補正後の予算総額は10億7,762万6,000円となる見込みであります。

このほか、第4条に経費の流用に関する事項の変更をお願いしております。

議案第179号は、令和6年度大館市工業用水道事業会計補正予算（第2号）案であります。

最初に業務の予定量であります、年間総給水量を16万立方メートル増の209万5,000立方メートルに、1日平均給水量を439立方メートル増の5,740立方メートルとしております。次に収益的収入及び支出であります、補正後の予算総額は、収入では給水収益の増額により8,911万2,000円となり、支出では動力費及び給与費の増額等により8,663万2,000円となる見込みであります。

このほか、第4条に経費の流用に関する事項の変更をお願いしております。

議案第180号は、令和6年度大館市下水道事業会計補正予算（第3号）案であります。

最初に収益的収入及び支出であります、補正後の予算総額は、収入では消費税及び地方消費税還付金の追加により13億9,464万4,000円、支出では流域下水道事業維持管理費負担金及び企業債利息の追加等により16億7,613万4,000円となる見込みであります。次に資本的収入及び支出であります、補正後の予算総額は、収入では流域下水道事業債の追加により17億3,035万9,000円、支出では米代川流域下水道事業建設費負担金の追加等により20億2,357万5,000円となる見込みであります。

このほか、第4条に企業債、第5条に経費の流用に関する事項について、それぞれ変更をお願いしております。

議案第181号は、令和6年度大館市病院事業会計補正予算（第2号）案であります。

最初に収益的収入及び支出であります、今回は支出のみの補正で、薬品費、診療材料費等の増額により、補正後の予算総額は137億8,710万5,000円となる見込みであります。次に、資本的収入及び支出であります、補正後の予算総額は、収入では企業債の増額により8億995万3,000円となり、支出では扇田病院ボイラー更新に係る施設設備整備事業等の増額により11億5,944万7,000円となる見込みであります。

このほか、第4条に企業債、第5条に一時借入金、第6条に経費の流用、第7条にたな卸資産購入限度額について、それぞれの事項の変更をお願いしております。

議案の概要につきましては、以上であります。よろしく御審議を賜りますようお願い申し上げます。

○議長（武田 晋） これより、ただいまの上程議案に対する質疑に入ります。

御質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（武田 晋） なしと認め、質疑を終結いたします。

○議長（武田 晋） 以上で、本日の日程は全部終了いたしました。

次の会議は、12月 2 日午前10時開議といたします。

本日は、これにて散会いたします。

午前10時40分 散 会
